

調整方法

ドアクローザー

■ドアの閉まる速度の調整

●夏季と冬季の温度変化により、多少閉まる速度が変化しますので速度調整をしてください。ドアの閉じる速度は、速度調整バルブをドライバーで回して調整します。調整の際は、手足や指などを挟まないよう十分注意して調整ください。

■2速調整の場合

●第一速度調整バルブ(刻印1側)は、工場出荷時に調整してありますので不要です。調整が必要な場合のみ、ドライバーで回して調整してください。第二速度調整バルブ(刻印2側)をドライバーで回して調整します。左へ回すと早くなり、右に回すと遅くなります。

■3速調整の場合

●調整バルブは3つあります。第一速度調整バルブと第二速度調整バルブで全体の閉じる速度を調整します。調整バルブをドライバーで左に回せば閉扉スピードは速く、逆に右へ回せば遅くなります。扉が閉じる寸前の「力」を強くしたい場合は、ラッチング力調整バルブを左に回しねじ込んでいくとラッチング角度が大きくなり強く締まります。閉じる力を弱くしたい場合は右へ回してください。

■風除室や玄関間仕切りを付けた場合

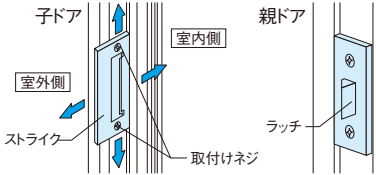
●風除室や玄関間仕切りなどにより玄関の気密性能が良くなるとドアチェックを調整してもドアチェックだけでは玄関ドアのラッチが掛からないことがあります。ドアチェックの力で玄関ドアのラッチが掛からない場合は、手動で閉めてください。

⚠️注意

●調整バルブは必要以上に回したりしないでください。緩めすぎると調整バルブがはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。

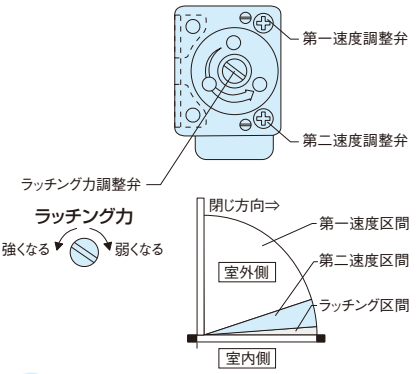
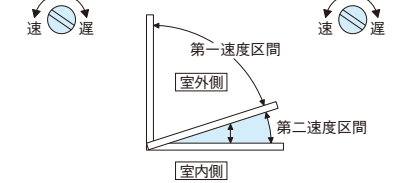
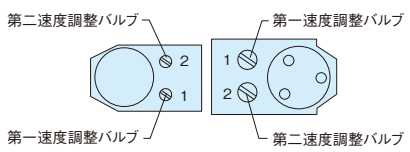
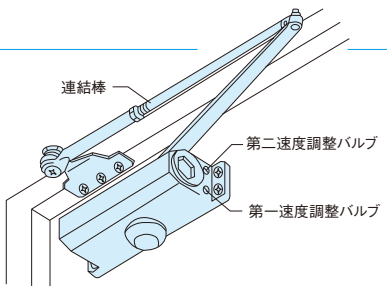
錠受け(ストライク)の調整

●ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取付けネジをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



■バックチェック機能調整の場合 (Grade 1 ドアクローザー)

●バックチェック調整バルブを右に回すとクッションが強くなり左に回すとクッションが弱くなります。



丁番・ピボットヒンジの調整

●丁番・ピボットヒンジの調整は必ず施工された業者にご相談ください。

